



## 自ら掴む経営エッセンス！

(記事：いどばた稲毛) 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>

3/25 (火)

テーマ：『お役をいただく幸せ』

出席**23社23名**  
(美浜19、他会4、非会員0)

講師：青森県倫理法人会 会長 中村 久美子 氏



Kumiko Nakamura

倫理経営講演会・MSと、2日間  
心のこもった熱いメッセージ  
を伝えてくれた中村氏。

中村氏は、生まれた頃から体が弱くて、入退院を繰り返していた。外に出ることはほとんどなく、病院の窓からコスモスの花を見るのが大好きだった。病院食だったから、「将来はおいしい料理を作る人になりたい」と思っていた。

会社の方は、24歳の時から実家の志賀煎餅店を手伝い始めた。昭和61年会社組織に変更、平成12年代表取締役就任。その3ヵ月後、倫理に出会ったが、この間に夫が亡くなってしまった。

夫は「腰が痛い」と訴えていたので、色々な病院で診てもらっていたのに、病名がわかるのが遅かった。「あと1ヶ月です」といわれた。

### 世に男と女があって当たり前。皆、早く気付いてほしい。

夫は、自分からは決して謝らない頑固な性格だったが、誠実で真っ直ぐな人だった。その夫が「すまないな」と看病する中村氏に謝り、「人に嘘をつくな。人の悪口を言うな」という2つの言葉をかけてくれた。

中村氏は、「夫が亡くなるまで、精一杯、もう悔いはないというくらい、やれることは全てやってきた。最後の3ヶ月間は夫婦生活40年分の幸せを、最後まで肌をくっつけて一緒にいられる幸せを感じた」と話す。1ヶ月と診断された夫が、半年間生きてくれた。

「今、私は一人。寂しいです。人は、一人では生きていけません」。でも、そこで倫理に出会った。MSに出るとどの講話者も、必ず私にないものを与えて

くれる。まるで、夫が教えてくれるように。「MSに来れば、主人に会える」そう思って倫理を続けた。日々良いことを重ねているうちに、「人って、やっぱり明るくなるのが正しい」と思った。倫理をやって、両親に「生んでくれてありがとう。長生きして恩返ししたい」という、本当に当たり前なのに気が付いた。

だからこそ、中村氏は思いを込めて伝える。「世に男と女があって当たり前。夫婦になって、相手がいるからこそ、けんかもできる。だからけんかをして、どちらかが先に謝ってください。この当たり前で大切なことに、相手がいる今、早く気付いて欲しい。私は夫が活着ているうちに気付く事ができなかったから」と。

### 畑と山しかない人口2万人の町で、会員数115社！

平成12年の倫理入会から4年後の平成16年9月、二戸市倫理法人会会長となった。普及拡大として会員数70社を目標に掲げたが、なかなかうまくいかない。当時の中村氏には、「私は皆より早く来て、こんなにやっているのに、誰も手伝ってくれない」という不平不満の心があった。

そんな時、「全てを受け入れることですよ」と教えられ、丸2日ほど悩んだ結果、自分一人ではできないんだからしょうがない。皆に謝って、皆のお話を聞いて、お願いをしようと決意した。開き直りもあった。そして、「毎日全部空けておきますので、とにかく一緒に声を掛けて回しましょう」と伝えた。

すると、翌日前会長が来てくれた。初代会長も来てくれて、3人で回ることができた。最初は断られてばかりだった。同級生や子分も全てだめで、前会長や初代会長がすっかり意気消沈してしまったのをみて、唯一女性の中村氏は方針を変えた。

倫理を最初から勧めることはせず、訪ねた会社の良い点を探してほめた。たとえ断られてもまた行ける雰囲気作りを心がけた。「社長さんが好きだから、一緒に行動したい」と、思いを伝えた。結果は100社達成。「歴史をきちんと引き継ぐ事が必要。初代(創った人)・2代目(つないだ人)、私の3人の会長と一緒に回った。そして女性の私には、社長さんをほめたり、男性や場を和らげる役割がある」。

高層ビルが立ち並ぶ美浜なら、もっともっと会員数が増やせるに違いない！

**次回 第871回MS！ 4/1 (火) 6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張 (043-297-7777)**

テーマ：『原因と結果』

講師：千葉県倫理法人会 副会長 荒井 久満 氏

できるできるやればできる！  
明るく楽しくなければ倫理じゃない！  
・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく